

平成23年和水町消防出初式を開催



1月9日(日)、菊池川白石堰河川広場で平成23年和水町消防出初式が開催されました。高岡成輔団長率いる「360人」の消防団員は、分列行進、通常点検、玉落とし放水競技などを規律正しく勇敢に行いました。また、平成22年度防火水槽設置土地提供者と初期消火功労者の表彰を行いました。

消防団員の表彰者と競技結果、平成22年度防火水槽設置土地提供者と初期消火功労者の表彰は次のとおりです。(敬称略)



平成23年和水町消防出初式表彰一覧

防火水槽土地提供者

多賀 勝丸
甲斐 良一
石原 徳明
北原美保子
未継 隆

初期消火功労者

入江 昭徳

年間優秀分団の部

最優秀分団 第2分団
2位 第3分団
3位 第1分団

年末警戒報告の部

1位 第1分団第4部
(大江田・藤田・前原・中央団地)
2位 第2分団第2部(日平・蜻浦)
3位 第3分団第3部
(下津原東・菰田・中・西)
4位 第3分団第1部
(久米野・岩尻・志口永)
5位 第1分団第5部
(立石・浦谷・米渡尾)

通常点検の部

1位 第3分団
2位 第4分団
3位 第1分団

玉落とし放水競技の部

1位 第3分団A
2位 第5分団B
3位 第6分団B

熊本県知事

永年勤続功労章(勤続25年以上)

分団	階級	氏名
第2分団	団員	杉村 隆行
第6分団	団員	中嶋 義昭
第6分団	団員	西島 祐二

熊本県消防協会

功労章(勤続20年以上)

分団	階級	氏名
第5分団	分団長	渡辺 秀之
第1分団	団員	牧野 康
第1分団	団員	東 泰宏
第2分団	団員	伊藤 正昭
第3分団	団員	大山 和説
第4分団	部長	西村 真人
第5分団	団員	坂本 博敏
第7分団	団員	井田 英隆

熊本県消防協会

勤続章(勤続15年以上)

分団	階級	氏名
第1分団	部長	池田浩一郎
第1分団	団員	牧野 貴浩
第2分団	団員	池田 誠
第2分団	団員	大野 幸夫
第3分団	団員	田上 光智
第3分団	団員	山崎 淳一
第5分団	部長	松尾 義徳
第5分団	部長	牛島 竜一
第5分団	団員	池上 哲也
第5分団	団員	牛島慎太郎
第6分団	団員	北原 研一

第6分団	団員	熊添 展久
第6分団	団員	白木 淳
第7分団	団員	井上 哲也

熊本県消防協会

玉名郡支部長表彰(優良団員)

分団	階級	氏名
第1分団	団員	松尾 圭一
第2分団	団員	前田 伸吾
第3分団	部長	木部 礼一
第4分団	団員	牧嶋 正和
第5分団	団員	池田 直樹
第6分団	団員	川口 裕喜
第7分団	団員	大久保勝博

和水町消防団 団長表彰(優良団員)

分団	階級	氏名
第1分団	団員	中原 哲雄
第2分団	団員	木本 人支
第3分団	団員	内田 真悟
第4分団	団員	松川 徹男
第5分団	団員	鍋島 龍男
第6分団	団員	北原 幸典
第7分団	団員	福原 浩一

第1分団	菊水中央小学校区管轄
第2分団	菊水南小学校区管轄
第3分団	菊水東小学校区管轄
第4分団	菊水西小学校区管轄
第5分団	緑小学校区管轄
第6分団	神尾小学校区管轄
第7分団	春富小学校区管轄

箱根駅伝で最優秀選手に「金栗四三銀杯」を贈呈

毎年、お正月の風物詩として定着している東京箱根間往復大学駅伝競走大会(通称箱根駅伝)は、和水町出身の偉人、金栗四三さんが創設された大会です。

和水町では、箱根駅伝を通して、選手への励みと次代を担う後継者育成に貢献できるならばと考え、第80回箱根駅伝大会から、最優秀選手に「金栗四三銀杯」を贈呈しています。

この「金栗四三銀杯」は、金栗さんのストックホルムオリンピック国内予選会での優勝トロフィーを複製したもので、町長からその年の最優秀選手へ手渡しで贈呈しているものです。

今年開催された第87回大会では、2区で17人抜きの活躍をみせ区間賞を獲得した、東海大の村沢明伸選手が最優秀選手に選ばれ、閉会式で坂梨町長より、「金栗四三銀杯」が贈呈されました。



第2回ふれあいの森検討委員会を開催

12月18日(土)、ふれあいの森の今後の活用方針を協議する和水町ふれあいの森検討委員会が開催されました。

午前中、里づくり協議会「なごみの里」の北原芳史会長の案内で、森の中に入り里山再生活動の活動区域、森の現状、開発可能な区域などを見て廻りました。

午後から役場本庁にて、現地確認を踏まえた上で第2回目の会議を開催しました。ふれあいの森の目的、テーマ、里山再生・開発エリアなどについて協議し、「森をどうするのかを基本として考えるべきでは」、「里山活動が主体であると思うが、それだけでは雇用、経済効果へとつながらない」、「民間活力を導入するにも規制とか規約とか、何らかの乱開発にならないように活かせれば」など沢山の意見がでましたが、活用方針の決定には至りませんでした。

次回は、現在行われている里山再生活動の将来計画などを確認して、再度検討することになっています。



北稜高校造園科の生徒が肥後民家村の花壇を製作

12月16日(木)、肥後民家村に北稜高校造園科の生徒が設計から手がけた花壇が完成しました。

花壇の製作には1ヶ月ほどの期間を要し、コンクリートブロックで囲んだ枠組みにしっくいを塗り、竹垣を立て、肥後民家村の雰囲気にあった花壇となっています。

完成を記念して、花壇の管理をされている菊水ボランティアの会の会員と一緒に葉牡丹を植えました。

町では、平成21年度から北稜高校造園科に肥後民家村を課題実習の場として提供しています。平成21年度は、樹木の剪定が行われ、今年度に引き続き、来年度も花壇の設計・施工を行っていただく予定です。

